

## 認知症は、発症・進行を 予防する時代へ

### 認知症の診断・治療技術は 大きく進化しています

日本の認知症患者数は、2025年には700万人前後になると推定されています※。これは65歳以上の高齢者の5人に1人が認知症を発症するということです。

認知症の根本的な治療方法は確立されていませんが、日本でもアルツハイマー型認知症の進行を抑制し、認知機能と日常生活機能の低下を遅らせる治療薬「レカネマブ」が新たに承認されました。

新しい薬による治療に加え、生活習慣などの改善により、発症や進行を予防できる環境が整った今、アミロイドPET検査を開始することにしました。

※平成29年版高齢者白書、厚生労働省発表

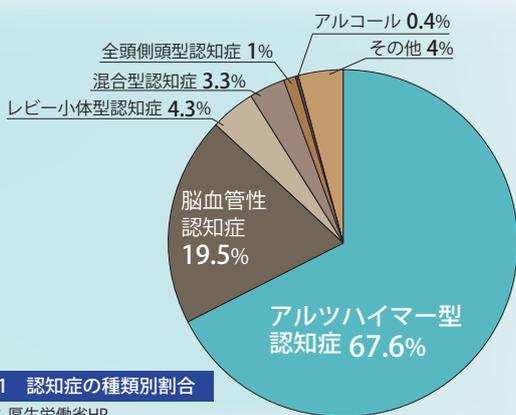


図1 認知症の種類別割合  
出典：厚生労働省HP

### 脳内のアミロイド凝集を画像化して 早期発見・予防に

認知症にはいくつか種類がありますが、その半数以上がアルツハイマー型認知症と言われています(図1参照)。発症の原因は未解明ですが、「アミロイドβ」というたんぱく質が脳内に凝集することが引き金となり、タウたんぱく質が蓄積して脳萎縮が起こり、認知症が発症・進行していくという説が有力となっています(図2参照)。アミロイドPETは、脳内にアミロイドが異常に集積していないかを確認できる画像検査です。

しかし、「アミロイド凝集＝認知症」ではありません。アミロイドは認知症を発症する20年以上前から脳内の蓄積が始まっていると言われています。脳の萎縮を判定するMRI、がん細胞に取り込まれたブドウ糖の分布を調べるFDG-PETなどがありますが、アミロイドPETはより初期段階での発見・予防をするのに有効な検査なのです。

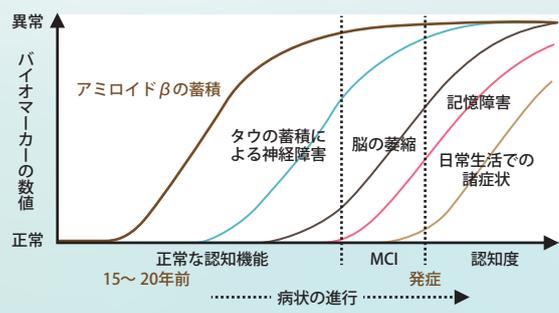
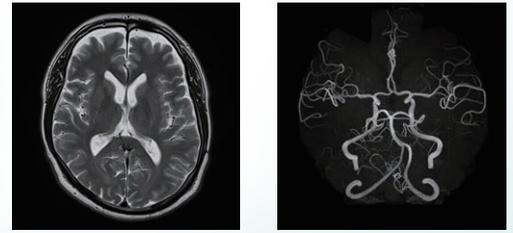


図2 アルツハイマー病の進行と脳内での変化  
出典：Lancet Neurol. 2010 [ PMID: 20083042 ] より

## 画像検査と神経心理検査により総合的に判断

認知症の定義は、「脳の病気や障害などにより、認知機能が低下して日常生活全般に支障が生じる状態」のことです。アミロイドが凝集していても脳の機能に問題がなければ認知症ではありません。そのため、『アミロイドPET検査』では、アミロイドPETと頭部MRI検査の2つの画像検査、そして神経心理検査による多面的な検査により、現在のあなたの脳の状態を精査し、脳疾患発症予防専門の医師が今後取り組むべきことについて、具体的にアドバイスを行います。



頭部MRI画像

今私たちがなすべきことは、3つです。

- ①アルツハイマー型認知症は、年齢を重ねると誰でも発症する可能性があるという理解する
- ②自分の現在の脳の状態を出来るだけ正確に把握する
- ③認知症の発症をできるだけ遅らせ、認知機能・日常生活機能を維持するよう、最善の取り組みを行う



PET-CT装置

「早めに知って、早めに対処」が最も効果的です。

まずは現状を客観的に確認した上で、認知症発症予防のためにできることを一緒に考えましょう。認知機能を維持するために有効なのは、よい生活習慣を維持することです。そのきっかけとして、ぜひ検査を受けてみてください。

## アミロイドPET検査の流れ

01



受付後、神経心理検査(約50分)を実施

02



頭部MRIの撮影(約20分)

03



PET検査実施前の注射

04



注射後、60分間の安静時間

05



アミロイドPETを撮影(約25分)

※来院時間によって「01(神経心理検査)」と「02(頭部MRIの撮影)」は前後する場合があります。

検査料金

アミロイドPET検査

550,000円(税込)

※PET検査単体では受けられません。



御池クリニック

人間ドック・PET画像診断センター

〒604-8436

京都市中京区西ノ京下合町11  
SHIMADZU PLAZA



ご予約のお申込み・お問い合わせ

0120-777-465

受付時間：8時30分～18時(月曜日～金曜日)  
8時30分～17時(土曜日)

<https://www.oike-clinic.jp>



地下鉄東西線西大路御池駅3番出入口よりすぐ  
JR山陰本線円町駅より 徒歩15分  
JR山陰本線二条駅より 徒歩15分  
阪急京都線・京福嵐山本線西院駅より 徒歩15分  
京福嵐山本線西大路三条駅より 徒歩5分  
市バス西大路御池停留所より 徒歩2分

